

平成16年度 継続評価書

研究開発 課 題	モバイルフィルタリング技術の研究開発	研究開発 期 間	H16～H17
研究機関 (又は代表研究機関)	財団法人 インターネット協会	代表研究 責 任 者	国分明男

平成16年度研究開発の目標達成(見込み)状況

評価	コメント
b	<p>W3Cへの提案が予定通りに進んでいないため、標準化が平成17年度に繰越になったが、この点を除けば、おおむね予定の目標を達成する見込みである。(標準技術についてはモバイルに限定されないことを確認。)</p> <p>国際的な活動は相手もあり、仕方のない面もある。他の面では十分である。</p>

平成16年度研究資金使用状況

評価	コメント
b	<p>研究資金については、特に問題は見当たらない。に関連して、国際標準化のための費用については、今後とも効率的に執行されることを期待したい。</p>

研究開発実施計画

評価	コメント
b	<p>様式4の「(ウ)モバイルレイティングシステム技術の研究開発」の年次目標がやや不明確であったが、実証実験を通して収集技術、識別技術に関する方法論を文書化して今後役に立てることを期待する。</p> <p>その他は妥当である。</p>

平成17年度予算計画

評価	コメント
b	<p>人件費と海外出張費が多いが、このテーマの研究としては適当である。国際的な標準活動には予想以上の費用がかかる場合があるが、研究開発の進展状況によっては、不足することも考えられるので、多少不安は残るものの、他の面では十分である。</p>

実施体制

評価	コメント
a	<p>この研究テーマに直接関係するW3C及びICRAの日本の責任者が中心となって実施しており、研究者の確保、管理体制とも極めて適切と考える。(携帯電話事業者など関連する事業者との連携も順調に進んでいる。)</p>

総合評価

評価	コメント
b	<p>この研究テーマの実施機関として、最も適切である。テーマの重要性、これまでの実績を併せて考えれば、引き続き委託すべきと考える。</p>